

湘南 Beach Style

～「人」と「道」をつなぐ～

小林 善彦 (指導教員 八尾 廣)



1 はじめに

「湘南」と言えば江ノ島をイメージする人が多いであろう。江の島には年間 1、345 万人の観光客が訪れる。今回の計画地はその江ノ島に架かる栈橋の隣にある湘南海岸公園の敷地内である。この公園は国道 134 号線と海岸線との間にある公園である。園内には新江ノ島水族館やビーチスポーツのコート、アスレチックなどの施設があり利用者は多い。夏になると海水浴場となり更に多くの人々がこの公園におとずれる。また、ここ湘南は、ライフセーバー、サーフィン、ボディボード発祥の地とされ有名である。近くには「湘南海岸公園前」「片瀬江の島駅」「江ノ島駅」の 3ヶ所駅があり交通の便が良い。また、公園内に大型駐車場が 2ヶ所あり車での便も良い。

私自身も年に数十回も行く場所。よく行くから感じる「なぜ、こんないい場所に駐車場?」「この駐車場のおかげで向こう側に行けない」という思いから本計画が進んだ。



図1 現状敷地写真

2 公園の問題点

公園内の大型駐車場が公園を 2 つに分断してしまっている。このことにより人の流れが駐車場で途切れてしまい公園の端まで人が流れなくなっている。また、国道側と海岸側との人の流れを分断している。

3 問題の解決策

人々が集まってくるような場をつくることにより 2 つに分断された公園を「つなぎ」あわせることで更なる観光客の増員、地域の活性につながると考えた。

4 コンセプト

「つなげる」…

- 2 つに分断された公園と公園をつなげる。
- 分断された人の流れをつなげる。
- 町からの景観に対する視線をつなげる。



図2 町から見た風景

5 提案内容

- 1) 駐車車を地下化し地上部を開放する。
- 2) 車場の機能を残したまま駐車場の上層にコミュニティセンター、観光センター、スポーツ体験施設、飲食店などを挿入する。
- 3) 駐車場の駐車台数を増やしてより多くの車を駐車出来るようにする。
- 4) 解放した地上部に高低差を活かしたランドスケープを計画する。
- 5) 上層に計画する建物の屋上にさらにランドスケープを計画し二層のランドスケープをつくる。

- 6) 建物は各施設ごとに内部でつながっていて行き来ができるようにする。
- 7) 建物を1つの大きなものにせず、建物と建物に隙間をあけることによってそこも人の通り道になり建物が人の動きを邪魔しないように計画する。
- 8) 屋上のランドスケープは1つにつながっており、道路側と海側、公園と公園をつなぐように計画する。
- 9) 地上部のランドスケープは「人」と「道」をつなげるために各アクセスポイントからの動線をのびし配置する。
- 10) 屋根を凸凹にする。各施設の必要な要素、ex、エントランスホールなどの天井高が高くてもいい場所やトイレなどの天井高が低い場所など要素、要素ごとに必要な高さを考え、配置することによって屋根を凸凹に計画する。



図3 ピロティー部の様子



図4 砂浜からの様子

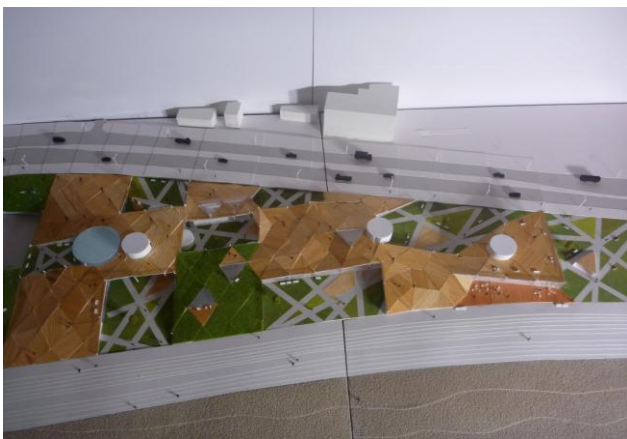


図3 上空からの様子

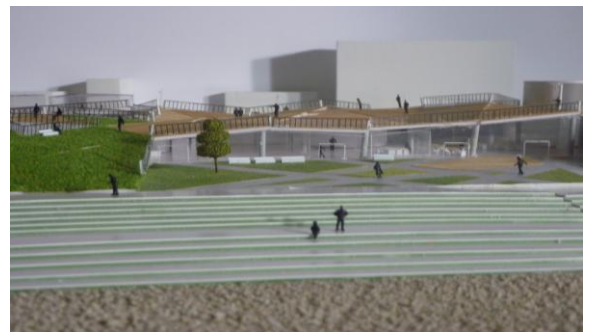


図5 階段からの様子

